

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	環境学習促進事業			事業番号	010-053
担当部署名	環境	局	環境都市推進	部	環境政策 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成	
		有	取組の方向性	③環境学習の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴールはつくる責任つかう責任	ターゲット	12.8	
		有	取組	環境に配慮した行動の促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量			
		有	現状値	643g(2019年度)	目標値	628g(2025年度)		
		有	現状値	643g(2019年度)	目標値	638g(2023年)		
2	関連計画	堺環境戦略						
3	事業開始年度	令和 2 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、学校、地域団体、民間企業、NPO等					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	小学校4年生～6年生（学習用資料）、18歳以上の市民等（講座）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	環境学習講座の実施を通じて市民等の環境に対する意識を変え、環境に配慮した価値観や行動への変容を促進する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>○環境学習用資料「わたしたちと環境」の作成 小学校4年生～6年生の児童が小学校で使用する環境学習用教材を作成した。</p> <p>○環境講座の開催 堺第7-3区をフィールドに、市民等を対象に、廃棄物埋立地の成り立ちや埋立地を活用した森づくりについて学ぶ講座を実施した。</p>					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 環境人材育成支援事業で課題研究活動に取り組んだ高校生の人数	人	目標値	-	-	50		50
		実績値	-	-			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由	より多くの高校生に環境人材育成支援を実施することで、環境に配慮した価値観や行動への変容につながるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	単年度あたり50人の取組参加を想定						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 環境人材育成支援事業を周知した高等学校の数	校	目標値	-	-	24		
		実績値	-	-			
		達成率	-	-			
当該指標を選定した理由	環境人材育成支援事業で課題研究活動に取り組む高校生の数を増やすため。						
目標値の設定根拠・算出方法	堺市内の高等学校全24校への周知を想定						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	環境学習促進事業	事業番号	010-053
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	0	0	7,602	961	3,159	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (助成給付金)			322	0	322
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源			7,280	961	2,837	
14 人件費 (b)	0	0	14,350	14,760	13,940	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	21,952	15,721	17,099	

事業費の内訳		(単位：千円)								
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源		
					R2	決算			R2	決算
16 事業費内訳	印刷製本費 (枠)	R2	決算	878	878	普通旅費 (枠)	R2	決算	1	1
		R3	予算	1,176	1,176		R3	予算	102	102
	その他使用料及び賃借料 (枠)	R2	決算	0	0	通信運搬費 (枠)	R2	決算	17	17
		R3	予算	685	445		R3	予算	77	77
	謝礼金 (枠)	R2	決算	31	31	消耗品費 (枠)	R2	決算	0	0
		R3	予算	463	381		R3	予算	76	76
	国際交流イベント運営支援 (Web配信等) 業務	R2	決算	0	0	その他保険料 (枠)	R2	決算	1	1
		R3	予算	300	300		R3	予算	20	20
	自動車借上料 (枠)	R2	決算	33	33	その他	R2	決算	0	0
		R3	予算	210	210		R3	予算	50	50

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費				
	区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	① 環境学習用資料の授業での活用 (自宅学習、自習を含む)	校	-	78
	② 上記①にかかる年間経費	千円	-	8,978
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		115,103
備考 (算出についての説明等)		指標は、令和2年度に設定したものを引用。年間経費は、印刷製本費 (枠) 878千円と人件費8100千円の和。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>【令和2年度に設定した指標「環境学習用資料の授業での活用」をもとに評価】</p> <p>令和2年度に環境学習用資料を活用 (自宅学習、自習含む) した市立小学校は78校 (市立小学校の84.7%) で、1校あたり115,103円の経費で同資料が活用できている。取組の継続にあたり費用対効果を高めるため、令和3年度は教員用の手引きの印刷を行わないことで、費用を削減する。</p>
KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)	
19	<p>【令和2年度に設定した指標「環境学習用資料の授業での活用」をもとに評価】</p> <p>環境学習用資料は、毎年小学校4年生一人ひとりに配布し、4年生～6年生で使用できる資料である。当資料は、SDGsの章、生き物の章、空気・水の章、ごみの章、地球温暖化の章、活動に参加しようの章で構成され、ごみの章では、4R等について紹介している。多くの児童が同資料で学習することで、将来へわたってごみの排出量の削減につながることを期待できる。</p>